

オステオパシー・ダイレクト・トリートメント・セミナー①



講師 柴岡オステオパシーオフィス院長 柴岡宏二

JOMA 認定オステオパス (JOMACO)

全4回

現代のアメリカで行われている、標準的オステオパシーマニュアルを参考とし体系立ててセミナーを行います。

これに準じたプリントも各セミナーで毎回配られます。

セミナー①(全4回)とセミナー②(全4回)があり、内容が異なります。

講師からのメッセージ

筋骨格系へのダイレクト・トリートメント(直接法)は、オステオパシーの中心と成る筋骨格系の生体力学の理解・触診の正確さ・安全性の認識・などの必要不可欠な基本的学術を必要とし、他のオステオパシーマニピュレーションを学ぶ上でも必要不可欠な、体捌きや、技法の基礎を習得するのに適しています。

世界のオステオパシー手技の教育に置いて、多くの学校がマニピュレーションの基礎として、ダイレクト・トリートメントの教育に多くの時間が割かれています。

ダイレクト・テクニックは20世紀初頭、古典的オステオパシー教育が成されていた時代、カークスビル大学初期の教授エデンス・アッシュモアDOなどは、手技の教育に置いては、間接法の難解な教育よりも直接法の学生教育を、手技習得のための基礎として重きを置いた。

オステオパシーのダイレクト・テクニックは、物理的トラウマ性の機能障害に大きな効果を発揮し、オステオパシーの重要な伝統的手技であり、熟達の領域に達すると、高度な匠の芸術的なオステオパシー手技に発展する手技です。

JOMAの今回企画したダイレクト・テクニックでは、オステオパシーの筋骨格系の全体性と各構造の原理と、各部位の触診、安全性の知識とその評価、ソマテック・ディスファンクション(SD)・各部位の関節構造を中心とした生体力学と、オステオパシー検査法のTART・ダイレクトテクニックの原理・ダイレクトテクニックの実技、を網羅したオステオパシーにとって必要不可欠なセミナーを行います。

オステオパシー・ダイレクトトリートメント 講義内容

セミナー①は四回シリーズで、セミナー②も四回シリーズになっています、
セミナーの中心内容は以下のように成ります。

ダイレクトセミナー① **ダイレクトの基礎と股関節・下肢・骨盤・腰椎の生体力学と各種調整手技。**

ダイレクトセミナー② **胸椎・肋骨・頸椎・上肢の生体力学と各種調整手技。**

ダイレクト・トリートメントセミナーの内容の全体像

- ・オステオパシクな各テーマ
- ・各構造の原理
- ・評価(安全性の評価・TART)・・・SD/禁忌
- ・触診
- ・ダイレクト・トリートメント
軟部組織法(ST)・関節法(ART)・高速度底振幅法(HVLA)
筋力法(ME)・原理・効果/実技

前期第1回目 2012年5月20日(日曜日)

テーマ・・・OMT概論・ダイレクトの基礎原理

オステオパシー哲学とマニピュレーション

筋骨格系のオステオパシクな視点

生体力学・神経学・呼吸循環器の統合的見方

各ダイレクトテクニックの種類(ST・ART・HVLA・ME)

基本的OMTの施術の適応・基本的禁忌・・・施術の進め方

関節機能障害・筋筋膜機能障害

ソフトティッシュ・トリートメント(ST)

アーティキュレート・リートリートメント(ART)

ハイベロスティー・ローアンピテュード(HVLA)

・マッスルエネルギートリートメント(ME)

各トリートメントの定義・原理・効果・方法・一般的禁忌

股関節部・ダイレクトトリートメント

股関節部の構造と機能

股関節のSD・筋筋膜のSD

器質的問題と機能的問題の識別・禁忌と適応

検査法(視診・問診・触診)・・・スクリーニングとスペフィクな検査

実技・・・ST・ART・ME

第2回目 2012年6月24日(日曜日)

発生学と力学的特性

発生学とオステオパシー

結合組織の特性・・・ウオルフの法則

下肢概論

下肢の構造と機能(膝・下腿部・足根部・足)

下肢のSD(膝・下腿部・足根部・足)・・・足底筋膜炎

器質的問題と機能的問題の識別・禁忌と適応

検査法(視診・問診・触診)・・・スクリーニングとスペフィックな検査
下肢・ダイレクトトリートメント・・・ST・ART・HVLA

第3回目 2012年7月22日(日曜日)

テーマ SDの神経学的洞察

ファシリテーションとは(アービンコーとデンスロー)

ファシリテーションの幾つかの段階・・・神経の記憶のカテゴリー

骨盤・ダイレクトトリートメント

骨盤の構造と機能・・・(仙骨と副交感神経)

寛骨のSD(腸骨・恥骨) 仙骨のSD 尾骨のSD 骨盤隔膜のSD

器質的問題と機能的問題の識別・禁忌と適応

検査法(視診・問診・触診)・・・スクリーニングとスペフィックな検査
実技・・・ST・ART・HVLA・ME

第4回目 2012年8月26日(日曜日)

腰部「腰椎」・ダイレクトトリートメント

フライアットの法則・ネルソンの法則・・・椎間板に対する古典的考え

腰椎の構造と機能

腰椎のSD

器質的問題と機能的問題の識別・禁忌と適応

椎間板ヘルニア ・ 脊柱管狭窄症 ・ 脊柱滑り症の臨床知識

検査法(視診・問診・触診)・・・スクリーニングとスペフィックな検査
実技・・・ST・ART・HVLA・ME

1. 日 程
- 第1回 2012年 5月20日 午前10時～午後4時
- 第2回 2012年 6月24日 午前10時～午後4時
- 第3回 2012年 7月22日 午前10時～午後4時
- 第4回 2012年 8月26日 午前10時～午後4時

2. 会 場 **飯田橋 ハイタウン 8階 831号室**

※白王ビルではありません

〒112-0004 新宿区下宮比町 2-28 飯田橋ハイタウン

電話：03-6802-9225

白石（事務局）：070-5542-9274（セミナー当日のみ使用可能）

※場合により日程・会場が変更になる場合がございます。

3. 定 員 **20 名**

なお、申込み人数が定員に満たないと中止する場合があります。

4. 参加費 支払い方法は次のようにいたします。

①全て前納一括払い、会員のみ分割可。

②前納の方は割引いたします。

分割の方・申し込み期限を過ぎての申込みの方は**割引をいたしません**。

また、割引の入金は締切日の営業日必着でお願いいたします。

③参加費は欠席されてもお返しいたしません。

④欠席の分はビデオ学習ができます。（事務所にて視聴またはDVDにて郵送）

※DVDによるビデオ学習希望の場合は別途1000円に送料を頂きます。

※会員の特典として、欠席し DVD 学習したセミナーは手の感覚などがわからない為、次回
の同シリーズにて欠席したセミナーに限り補習参加を認める。(参加費別途)

J O M A 会 員 分割 10,000 円 各回ごと
全納 各 10,000 円×4 回=40,000 円 (20%引き : 32,000 円)

国家医療資格養成校学生 または
2 年制以上のオステオパシー・カイロプラクテック養成校生
全納 各 12,000 円×4 回=48,000 円 (10%引き : 43,200 円)

国家医療有資格者 または
2 年制以上のオステオパシー・カイロプラクテック教育機関卒業生
全納 各 17,000 円×4 回=68,000 円 (10%引き : 61,200 円)

※キャンセル料 : セミナー開催日の 8 日前までは振込手数料を差し引いた残金を返金いたします。
7 日前(開催 1 週間前の同じ曜日)からは料金の 10%と振込手数料を差し引いた金額を返金いたします。

支払い方法に不明な点がございましたら JOMA 事務局までお問い合わせ下さい。

5. 申 込 み 参加希望者は所定の申込書に必要事項を記入して 5 月 11 日までに
FAX にて日本オステオパシーメディシン協会へお申込み、
入金は 5 月 14 日までに下記口座へお振込みください。

FAX : 03-6802-9225
URL : <http://www.japan-osteopathy.com>

振込先

みずほ銀行 飯田橋支店 店番号 061
口座番号 普通 2441537
日本オステオパシーメディシン協会
代表 原田 健穰 (ハラダ ケンジョウ)

6. 備 考 ○カメラ・動画に類する撮影は撮影・持ち込みはできません。録音は可能です。
○ この技術を使用し万が一事故が生じた場合、当会では一切責任を負いません。
○ 参加者は誓約書にサインしていただきます。

オステオパシー・ダイレクト・トリートメント・セミナー申込書 2012年 月 日

1. 一括・期日までに前納(5月11日迄申し込み、5月14日迄入金)
2. 当日払い(会員のみ)

氏名	漢字	ローマ字
年齢	才 男性 ・ 女性	
住所	〒	
電話番号	Tel - -	Fax - -
Email		
※所属団体	JOMA 会員 ※その他()	
※国家資格	注1	
※学校名	注2	
※卒業校名	注3	
※振込予定日	注4前半 年 月 日 会員のみ(一括払い、当日払い) どちらかに○ 後半 年 月 日	

※ は必須項目ですので必ずご記入ください。

注1：医療国家資格をお持ちの方は明記し、証書の写しをお送り下さい。

注2：医療国家資格校の学生は学校名を明記し、学生証の写しをお送り下さい。

オステオパシー・カイロプラクテック 2年生養成校等の学生は学校名を明記し、学生証の写しをお送り下さい。

注3:オステオパシー・カイロプラクテック2年生養成校等を卒業している方は学校名を明記し、卒業証の写しをお送り下さい。

注4：分割払いの方は、事務所にご連絡ください。

- 過去に JOMA 主催のセミナーを受講された方は、再度、注1・2・3の証書等の写しは必要ありません。

～ご参加の動機について該当するものにチェックを入れてください～

- JOMA ダイレクト・メールを見て
- JOMA ホームページを見て
- 口コミ
- 紹介(紹介者名:)
- 雑誌や広告()